

大変革期における 技術活動のあり方

Rolls and Activities of the Chemists at the Time of Great Change

常務取締役
国際本部
石野 博

Hiroshi
Ishino



リーマンショックから一年が過ぎ、各国政府の必死のカンフル剤により世界経済は反転の兆しを見せていますが、そのカンフル剤終了後の二番底、財政赤字等々、更なる問題が危惧され、予断を許さない状況が続いています。

今回の危機は市場経済主義への過信から来る金融への行き過ぎた自由化と、その中でコンピュータを駆使した金融工学への盲信が生んだものと言われています。しかしその実は、発展がスローダウンすべき日米欧にカンフル剤を投下し続けたため、バブルを引き起こしていたのであり、大きな発展が望めるBRICs(特に中国・インド)の発展への切り替わりの時期の狭間に起こったと見るべきだと思います。その観点で今後の世界を考える時、大きな3つの潮流の変化が読み取れます。

第1に、欧米、特に米国という巨大市場がスローダウンし、BRICs等の新興市場が巨大市場として勃興。日米欧標準とは異なる品質、仕様の商品のニーズが出現している。

第2に、新興巨大市場出現で省資源、地球環境対応の必要性が出てくる。

第3にその新興巨大市場向けの商品の調達・製造・開発を現地で行なう必要が生じる。

我が社を例にとると、

第1については世界標準品とは異なる商品のニーズが発生し、その割合が増加してきています。

第2については、自動車用塗料ではこれまで中塗り、上塗り・クリヤーを塗るに当たって行っていた焼付け2回を1回で済ませることにより熱エネルギーだけでなく、設備の節減を可能にしました。さらに建築用塗料では、省エネ対策に有効な「ヒルムシリーズ」という遮熱、断熱効果の高い塗料や、古来からあり吸湿、消臭に加えて鳥インフルエンザをも殺菌する効力、ホルムアルデヒドの吸着分解という種々の環境対応の機能を有する消石灰を原料とした「漆喰」を塗料化した「アレシックイ」を開発、販売しており、今後とも省資源・環境に対応した商品を開発していく所存です。

第3については、現在すでに生産は現地で行っており、調達・開発においては、いくつかの拠点でスタートしていますが、今後さらに現地化を進めていく方針です。

最近の日本の若者の中では、いわゆる理科離れの傾向が見られますが、昨年は4人の日本人(1名はUS籍)科学者がノーベル物理学賞、化学賞を受賞されました。正に日本人科

学者のためのノーベル賞の感がありました。この偉大な成果が若者に科学への親しみと興味に繋がる事を大いに期待する次第です。それぞれの受賞研究テーマは、いずれも新しいテーマというよりは、数十年を経て評価されたものでありますが、これらが現在の新しい科学、技術と融合する事により更に価値を得たものと考えられます。我々企業の研究開発においても、あるいは古い研究が正しく評価されずにまた、新しい技術との融合が図られず休眠状態に置かれているものがあるかもしれません。今後、新興巨大市場のニーズに対応するには、新しいテーマに挑戦していく事も重要ですが、古い研究・技術の棚卸から融合というような活動も必要ではないかと思えます。さらには、経済性・スピード重視、何よりも現場のニーズ反映のため、現地で手に入る材料で現地にあった仕様を現地の人を起用しての開発をマネジメントする勇気と目利きに加えてフレキシブルさと判断力が要請されると思っています。

世界的な大変革期に入った現在、研究者、技術者にはそれぞれの活動の意義、目的、任務を改めて明確にする必要があります。信頼性、コスト競争力が重要である事は誰しも理解しており、マーケットに合致した技術であり技術の効率性、スピードなどの必要性も十分に浸透していると思えます。では、今の経営環境下で更に研究者、技術者に求められるものは何か、と問われたら

- ①常に地球環境への意識を持っていること
- ②変化を先に読み価値を創出できる思考ができること
- ③物事の背景の動きを見極めた上での物作りができること
- ④マネジメント(特に海外スタッフを含めて)ができること
- ⑤曖昧さを排除できる技術者であること

等が挙げられます。「革新は混沌の世から」とよく言われますが、丁度今がその時でどの分野においても革新技術が創出される事を大いに期待するとともに、お客様にとって付加価値の高いご満足いただける製品をご提供し続けていく所存であります。

本誌『塗料の研究』は弊社の研究活動の成果である新技術、新製品を皆様にお伝えするために発行させて頂いております。

平素より小誌をご愛読いただくとともに、貴重なご意見を賜り誠にありがたく御礼申し上げます。これからも一層のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。